※本装具の使用に際しては必ず取扱説明書をよくお読み下さい。本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

フリー支柱
ラックニー「リガ」813N　取扱説明書

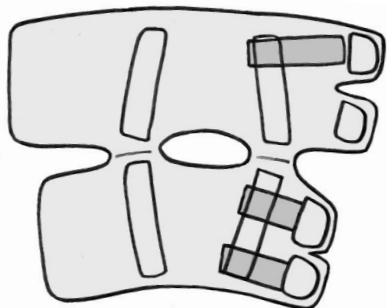
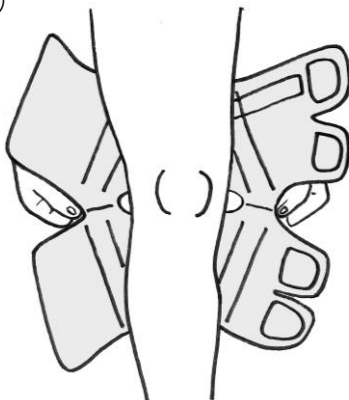
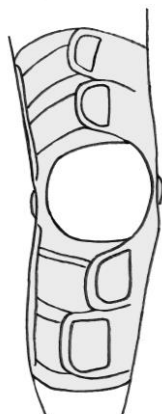
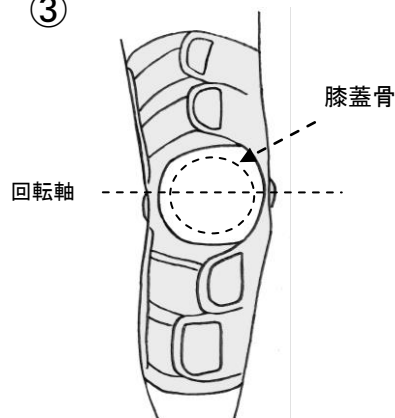
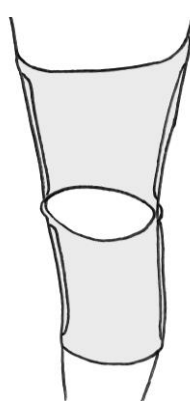
警告　（この注意事項を守らないと、使用者が重傷を負うおそれがあります）

- 本装具は医師の処方のもと、義肢装具士が調整しご使用いただく装具です。
- 本装具の使用に際しては医師の指示に従い、義肢装具士など医療従事者の十分な指導を受け、正しくご使用下さい。
- 本装具の使用により痛みやしびれ、かぶれ等の異常が生じた場合は使用を中止し、速やかに医師または義肢装具士に相談して下さい。
- 使用期間及び使用状況によって、縫製部分などが破損する場合があります。破損した場合はすぐに使用を中止して下さい。
- 本装具の加工、改造は絶対に行わないで下さい。
- ご本人以外のご使用はお止め下さい。

注意　（この注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害のおそれがあります）

- 装着前に必ず本体、ベルト、支柱等に異常がないか確認して下さい。
- 装着の際は、前後、上下、左右、表裏を確認し装着して下さい。
- ベルトは緩まないように装着して下さい。
- 使用中にずれ、緩みが生じた場合は必ず正しい位置に装着し直して下さい。
- 常に乾燥させてご使用下さい。

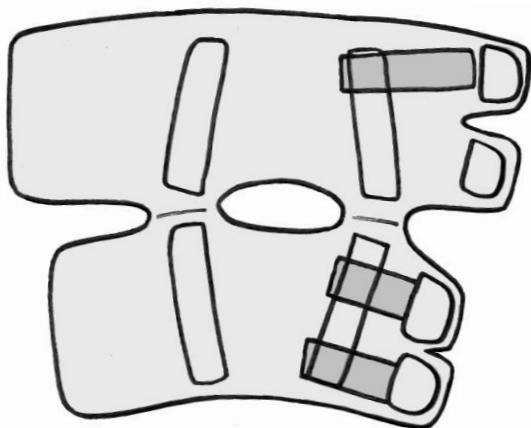
装着方法（右膝の場合）

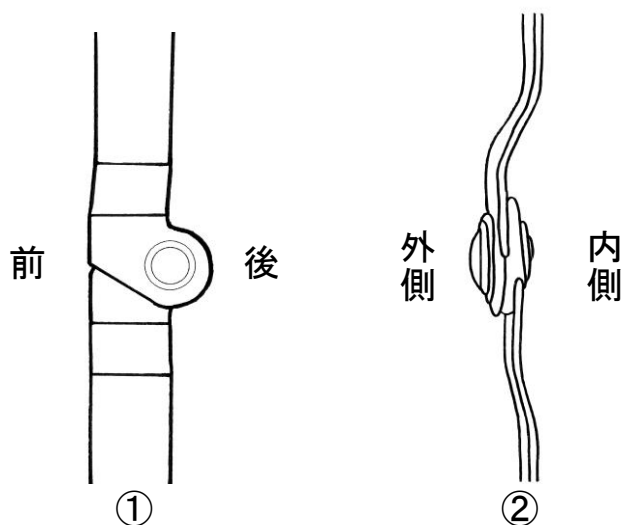
- 本装具の上下、表裏を確認して下さい。〔①〕
- 本体を後方から膝に巻き、前のマジックテープを留めていきます。〔②〕
- 膝の膝蓋骨（お皿）のすぐ下、すぐ上、大腿部、下腿部の順に留め、再度締め直します。これによりフィット感が増します。特に膝蓋骨のすぐ下のベルトはしっかりと締めて下さい。
- 支柱の継手部分（回転軸）は膝蓋骨の中央の横に位置し、膝蓋骨をしっかりと出します。〔③〕

洗濯について

- 必ず、支柱を本体から外し、中性洗剤で手洗いして下さい。
- よく水気を切り、陰干しして下さい。
- 漂白剤、乾燥機は使用しないで下さい。
- 洗濯後は支柱の形状をよく確認し、上下、左右を絶対に間違えないように入れて下さい。

義肢製作所様用

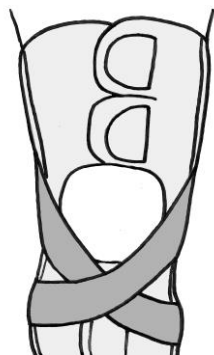
本体構造

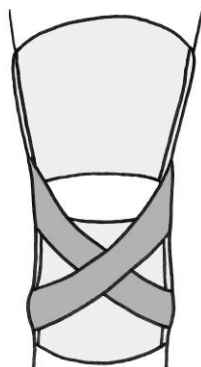
- 内蔵の伸び止めは本体前面に３ヶ所あります。リガ「ACL」811N と同じです。

フリー支柱について

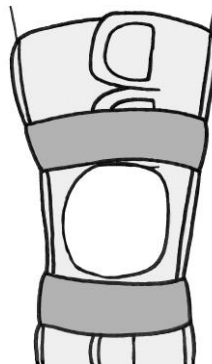
- 継手部分はオフセット構造になっています。〔①〕
- 継手部分内側にクリアランスを取っています。〔②〕
- 屈曲・伸展制限はできません。

調整方法

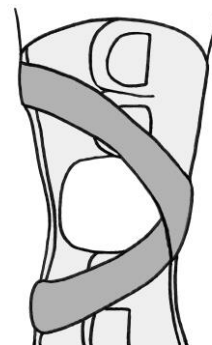
- 使用前に装着者の脚の形状に合わせて必ず支柱を曲げて下さい。
- 支柱を曲げる際の膝関節の角度は軽度屈曲位（約 20°～30°）です。
- 支柱を曲げる際、継手部分に無理な力が加わると破損する場合がありますのでご注意下さい。

ストラップについて

- ストラップは３本あります。
- ストラップは支柱の継手部分では内側のクリアランスがある方を通して下さい。
- ストラップは症状に応じ、自由にお使い下さい。
- 以下にストラップの使用例を示します。図は右膝の場合です。

●前十字靭帯（ACL）損傷用

膝蓋骨の下でクロスさせ、下腿の前方引き出しを防ぎます

●後十字靭帯（PCL）損傷用

下腿後面上方でクロスさせ、下腿の後方引き出しを防ぎます

●膝蓋靭帯炎等用

膝蓋骨の上下を圧迫します

●内側側副靭帯（MCL）損傷用

膝関節内側でクロスさせ、外反動揺を防ぎます。

※外側側副靭帯（LCL）損傷用は膝関節外側でクロスさせます

※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

取扱義肢装具製作所

製造・発売元　　世界遺産　石見銀山

中村ブレイス株式会社

本　　社/〒694-0305　島根県大田市大森町ハ１３２
TEL(0854)89-0231(代)　FAX(0854)89-0018

東京事務所/〒158-0097　東京都世田谷区用賀１－１０－３
世田谷ビジネススクエア ヒルズⅡ　2F-25 号
TEL(03)3709-9361　FAX(03)3709-9362

2013.7